

広報



村章

なまきじん

1997 9 No. 262

毎月1日発行

●今帰仁村の人口

男4,851人(0) 女4,791人(-4) 計9,642人(-4)

世帯数 3,254戸(-3)

平成9年7月末現在

今帰仁村



村民体育館落成記念 京都大学交響楽団演奏会

京都大学交響楽団演奏会
今帰仁村立村民体育館落成記念



今帰仁村民憲章

- 一、みんなで作ろう 恵まれ
た自然と文化遺産を
- 一、みんなでつくりよう うるお
いとやすらぎのある村を
- 一、みんなで育てよう のび
ゆく力と豊かな心
- 一、みんなでめざそう 健康
で希望に満ちた村を
- 一、みんなで築こう 平和で
明るい活力のある村を

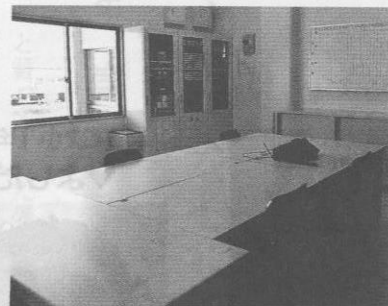
村民体育館落成記念の一環として、「京都大学交響楽団」を招いての演奏会が七月二十二日、真新しい村民体育館で開かれ、会場には生のオーケストラの演奏を聴こうと、多くの家族連れが詰めかけた。「京都大学交響楽団」は、結成から八十年余りの伝統と優れた演奏技術をもつアマチュアオーケストラで、当日は沖縄民謡「ていんさぐの花」なども演奏され、会場から盛んな拍手が送られた。



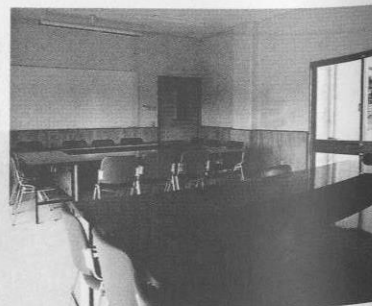
▲アリーナ



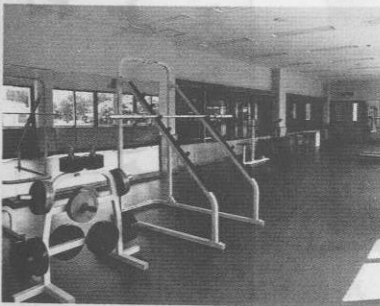
▲シャワールーム



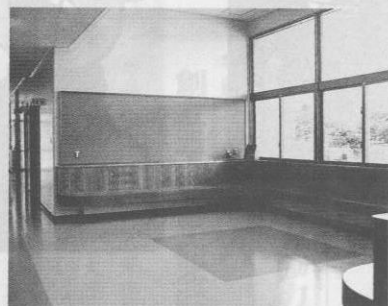
▲管理室



▲ミーティングルーム



▲トレーニングルーム



▲談話コーナー

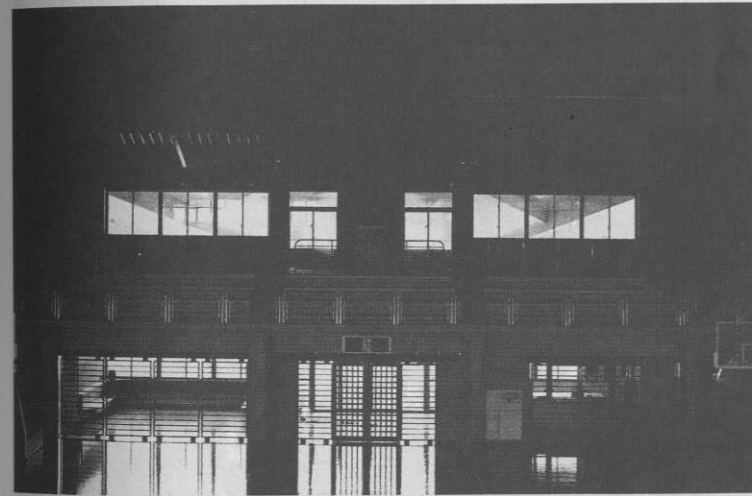


▲児童コーナー

今帰仁村立 村民体育館



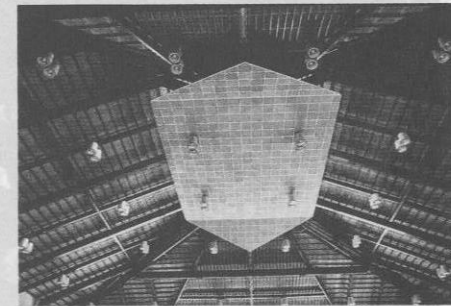
▲西側面



▲観覧席

村民体育館の概要は、総工費六億二千五百万円、RC造二階建て村蝶(フタオチヨウ)の蝶形屋根が特徴、建築面積二二五三平方メートル。

設計委託は(有)国吉設計、建築工事は(株)東開発・(有)孝夫組建設工事共同企業体、電気設備工事は(有)平良設備工業、機械設備工事は(有)丸島建設、噴水設備工事は向陽電気、浄化槽設備工事は嶺志電社の各社がそれぞれ請負った。それでは写真で完成した施設を回ってみましょう。



▲天井の梁



▲正面全景

学対シリーズ(37)



がんばってるよ 朝よみ夕よみ

今帰仁小二年 町田 みゆ

「朝読み・夕読み」作文・標語・ポスターコンクール優秀賞

「朝よみ、夕よみ毎日つづけてにじゅまる」
わたしの本よみは、朝六時はん、よる七時にやります。だからいつもにじゅまるです。「かえるのびよん、とぶのが大すき、はじめに、かあさんがとびこえて」わたしは、口を大きくあけて本をよむのが大すきです。

わたしの本よみは、毎日きまった時間にはじめます。だけど土曜日、日よう日はよみたんのお姉ちゃんのところに行く時があるから、その時は、こまるの

で国語の本をもっていくこともあります。
よみたんに行く時は、八時ごろしゅつぱつします。一時間はんぐらいなので、九時三十分にはつきます。そして四人であそびに出かけます。ぼんの六時三十分には、おうちにかえってきます。おふろに入って気もちよくなったところであつたしの本よみが、はじまります。お父さんとお母さんとお姉ちゃんのまえて、大きな声で「かえるのびよん」をよみます。おわると「じようだよ。声の大きさもすこいね。」とほめてくれます。つぎはお姉ちゃんのばんです。お姉ちゃんも四年生なので、わたしがまだしらないかん字も、すらすらよみます。わたしは「お姉ちゃんつてすこいな」といつも心の中でかんしんします。わたしも四年生になったらあんなむずかし

みんなきいてね わたしがよむよ 大きな声で

今帰仁小一年 なかむら まみこ

兼次小1年
▼よしだ こう



▲今帰仁小2年
我那覇 菜津美

朝よみ夕よみ まい日つづけてにじゅまる

今帰仁小二年 町田 みゆ

「琉球国は南海の勝地にし三韓の秀を鍾め、大明を以て輔車となし、日域を以て唇齒となして、この二中間にありて湧出する蓬萊島なり」
皆さんは、この言葉を知っていますか。これは、一四五八年に首里城正殿に掛けられていた鐘「万国津梁の鐘」に記されている銘文の一部分です。

この言葉の意味は、「琉球は流していたのです。僕はこのことを思うたびに沖繩は、アジアの窓口、あるいは、日本とアジア諸国の結びになれる島だと思います。アジアの人々も沖繩に対する思いは、とても友好的であると聞きます。沖繩が、アジアや世界に向けて平和の発進地になれたらどんなにすばらしいことでしょうか。

築いてきた様に、世界中に目を向けた方がいいと思います。皆さんは、「国際都市形成構想」を知っていますか。これは、沖繩を世界の情報発進地として、又、国際的豊かな沖繩を作るといふものなのです。二〇一五年までには、沖繩にある米軍基地全てを撤去し、その広大な跡地に国際化に応じたものを作るのだそう

らこそ、真の国際人と言えるのではないのでしょうか。「イチャリバチョーデー」という方言、人と人との出会いを大切にすること。昔の沖繩の先祖たちは、すばらしい言葉を残してくれました。先に述べた、「若者が、夢や希望を抱けるような沖繩の未来を切り開く判断をするよう、心からお願ひします。」

い視野と、発展的思考が必要ではないかと私は考えます。「イチャリバチョーデー」の精神は、正に人と人との出会いを大切に国際交流の心ではないのでしょうか。私たちが若い世代はいろんな機会にいろんなことに接し、我を磨き国際的センスを持たなければなりません。私たちが、明日の沖繩を作るのです。これからの沖繩を築いていくのです。

第15回 青少年の主張大会



国は日本の南の海にあり、伝法が栄えているりっぱな土地である。朝鮮の優れたところを取り集め、明とは上あごを下あごのようにたがいに助け合って、日本とは唇と歯のようになり寄りそいあって、大地から出現したあこがれの島である。」という意味です

その時代の祖先たちは、東アジアの豊かな海や、自然の恵みの中で、沖繩の地理的特性を生かし、世界の人々と交

しかし、現実の沖繩はどうでしょう、在日米軍基地のおよそ七十%が、沖繩という小さな島に集中しています。基地があるが故の多くの被害にあい、何よりも基地依存経済のために、自立した心さえ失っているのではないでしようか。

琉球王国時代、沖繩は一つの国としてアジア諸国や世界の人々と交流してきました。私は、今の沖繩は、祖先が

イチャリバチョーデーを心に

北山高三年 岸本 将之

です。

沖繩を国際化の先駆けとして、私たち若い世代は、世界に誇れる「国際人」にならなければならぬと私は思います。

私は、「若者が、夢や希望を抱ける様な沖繩の未来を切り開いてほしい」と言った大田知事の言葉に、感動させられました。

私自身、「真の国際人」とは、自分の住んでいる地域の歴史や文化、方言などを知ってか

と言ってくれた署名訴訟最高裁判所に立った大田知事の言葉。ただ、今の沖繩を見ているのではなく、沖繩の未来を考えての言葉だったのでないでしようか。

私たちは、大田知事が言ったあの言葉に答えられるような、「国際人」になれたらいいと思います。

そして、沖繩に対する意識を高め、かつアジアなどの大舞台に目を向けられる様な広

写真提供にご協力を 今帰仁中 創立五十周年記念誌

今帰仁中学校は、来年初立五十周年の節目を迎えます。その事業の一環として記念誌を発刊する事になっていきますが、編集していく上で特に学校関係の写真が少なくたいへん困っております。写真をお持ちの方はぜひ提供していただきますようご協力お願い申し上げます。

(写真は、記念誌発刊後にお返し致します)

◆連絡先
沖繩県今帰仁村字天底 一三三三
今帰仁中学校
電話 〇九八〇一五六―二四〇二

第18回

今帰仁村まつり

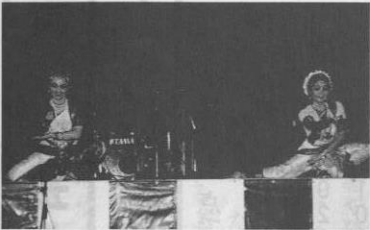
多催なイベントで賑わう



▲新曲、ゆがふ今帰仁にあわせて楽しく踊る。



▲おもしろい観衆のあふる今帰仁村まつり実行委員会



▲インド舞踊、絶妙な動きで観衆を魅了。



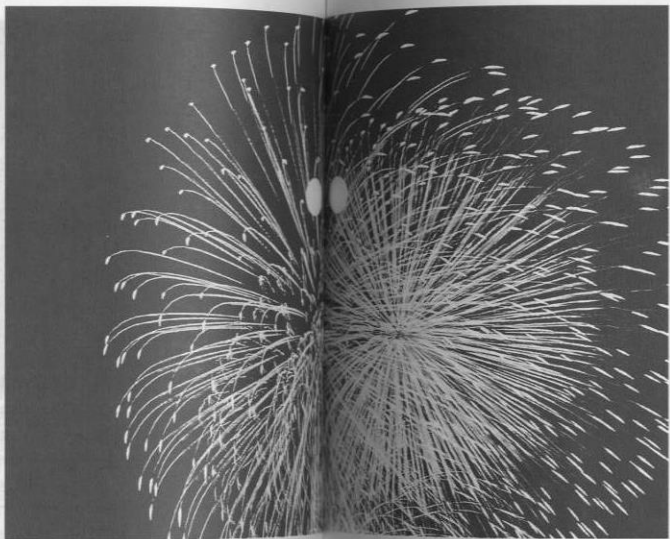
▲勇壮な湧川青年会エイサーを披露



▲新しい衣装でみごとな日舞。



▲まつりに花を添えた、いまじん太鼓。



▲夏の夜空にひととき輝く花火



▲各テナントは大繁盛。



▲クラシックカーフェスティバル、マニア勢揃い。



▲元ちゃんバンドにのって踊る婦人会のみなさん。



▲息がピッタリ谷茶前



▲熱唱する上間博安村長。



▼ほく、カッコイイだろう!



▲応援を背に海の男意気を歌う諸田博さん。



▲カラオケ大会、審査員のみなさん。



▲ご芳志ありがとうございました。



▲あっしまった!ハズレだ スイカ割大会。



▲琉舞研究所の子ども達による華麗な舞い。



▲夏のひとときを満喫する観衆



▲気迫に満ちた空手の演武。



▲牛乳ストロー早飲み大会、一番はほく。



▲老いも、若きもグランドゴルフ。



▲ドラエもんと遊ぶ家族連れ。



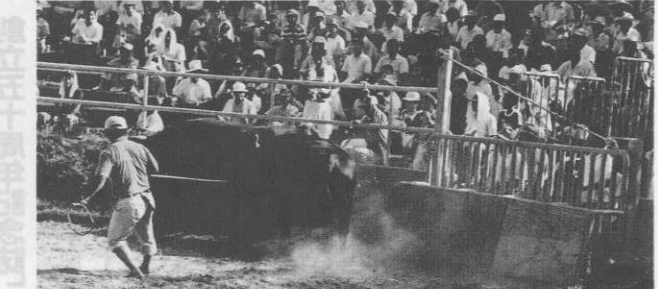
▲第一回磯釣り大会、賞状を手に満足そう。



▲さあ、スタートダッシュでエンジン全開。



▲夏のひとときを満喫する観衆



▲死力を尽くした大一番、闘牛ファンを興奮の渦に巻き込む。

第八回村少年野球大会

崎山チームが初優勝

八月十三、十四の両日、村運動公園サブグラウンドで開かれた第八回村少年野球大会(村教育委員会主催)で崎山チームが初優勝を飾った。

本大会の決勝戦は崎山チーム対今泊チームが対戦、試合は両チームとも一歩も譲らず三対三のまま延長戦に突入。特別ルールのノーアウト満塁で崎山が二点を先取、その裏

今泊の反撃を一点で抑え、逆転勝ちした。

崎山	1000225
今泊	1011014

各賞は次のとおりです。
○殊勲賞―諸喜田智也(崎)
○敢闘賞―金城 大樹(今)
○打撃賞―諸喜田智也(崎)



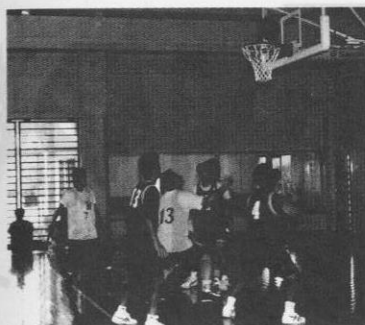
初優勝の崎山チーム

謝名、越地チームが四連覇

第五十三回村球格技大会

トテニス)が八月三日、村民体育館を主会場に男女二十チームが出場して、熱戦を展開した。

男子バスケットボールの決勝戦は仲宗根と天底が対戦、両チームとも手に汗にぎる白熱したゲームを繰り広げたが、一ゴール差で仲宗根に軍配が上がった。今大会の選抜チームは、九月七日に開催される郡大会に派遣されることになっており、同大会での健闘を期待したい。



白熱戦を展開したバスケットボール

成績表

種目	優勝	2位
総合成績	謝・越	仲宗根
男子バレーボール	謝・越	運天
女子バレーボール	仲宗根	謝・越
男子バスケットボール	仲宗根	天底
庭球	湧川	謝・越

各種目の成績は別表のとおりです。

児童オリンピック

兼次小の2人 2位、3位と健闘

八月二、三の両日、県総合運動公園(沖縄市)で開催された児童オリンピック陸上競技の六年男子八百メートルで、兼次小学校の嘉数望君と金城生君が二位、三位と健闘、入賞を果たした。

この種目には、予選十三組、九十四人のエントリーがあり、その中での上位入賞とあって関係者を驚かせた。

県代表に大城夏希(兼中)

大城慎也(今中)、野村・謝花組(湧中)

県総合運動公園陸上競技場で、七月二十三日から二十七日まで行われた県中学校夏季総合体育大会において、共通女子砲丸投げに出場した大城夏希さん(兼中三年)が11メートル11の自己新で優勝。共通

国民年金は、あなたの未来をお手伝います。

しかし、今のままでは?



老齢年金を受けるには国民年金と他の制度(厚生年金、共済組合)を通算して、25年以上の受給資格期間がなければ年金は受けられません。

「文化国際交流」 IN アメリカ

いまじん太鼓



元気がつらつ、はいポーズ

今帰仁子供太鼓 いまじん(玉城みちよ団長)は、琉球文化の伝統を広く子供達の交流を通して伝え、地域文化を創造する子供達に、広い視野を持つてもらうことを目的に、七月二十六日から八月五日までの十一日間、いまじん太鼓会員十八人、引率五人を含む総勢二十三人が、アメリカ(ワシントン、ロサンゼルスなど)で文化国際交流会を行った。

滞在中は県人会会員宅へホームステイさせてもらい、地域の学校を訪問して体験入学、演舞の指導や発表など、内容の濃い交流会となった。

玉城みちよ団長は「団員の父兄をはじめ、たくさんの方々の心温まるご支援により、子供達全員一段とたくましくポストンバックいっぱい

の感動を詰めて帰ってきてました」と話し、深く感謝の意を表わした。

丸山マジック観衆を魅了

「わくわく会」

去る七月十九日、村コミュニティセンターにおいて、丸山浩路先生(プロ手話通訳者・ステージ講演パフォーマンス)の講演会が行われ大きな反響を呼んだ。

今回親子連れを対象に、子育てを中心とした内容は笑いあり、涙あり、感動ありで、手話を交えた独特の丸山節で会場の空気が動き、聴き手の感性を揺さ振った。親は「子供を育てている」とおこるのではなく、「子供を育てさせてもらっている



熱演する丸山先生

だ」という気持ち。「子育てという大きな役割を与えられたからこそ色々なことを学び、感じる事ができるのだから、感謝すべきである」と。また、子供にはすべての可能性にトライする場を与える。頭ごなしに反対するのではなく、温かな目で見守ること。そしたらそこから、自分なりのオンリーワンを見つけ出すことができるだろう。つまり親は子にナンバーワンを期待するのではなく、オンリーワンを引き出す手助けをすべきであると力説した。

講演が終わり、会場から感動や感謝の声が聞こえ、さらに丸山先生から激励まで受けた主催者「わくわく会」スタッフ一同は感無量。村民に生きる力と元気を与えた内容は、次の活動へ意欲を湧かした。講演会であった。

平成9年度コミュニティ助成事業 農村公園を植栽

(湧川)

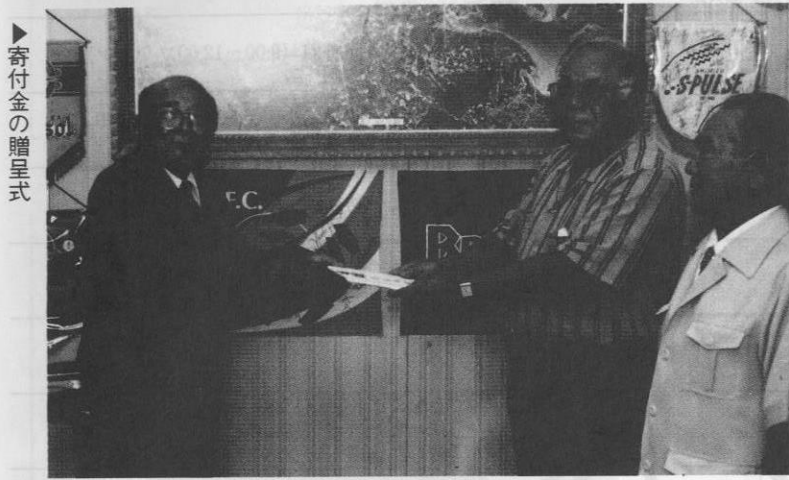
字湧川(与儀常次区長)では、(財)自治総合センターの行うコミュニティ助成事業(宝くじ助成)による農村公園の植栽(琉球コクタン、デイトゴ、サクラ等)がこのほど完了した。

与儀区長は「同公園はゲートボール場や御嶽など、区民のコミュニティ活動の場として広く活用されており、今回の植栽でさらに充実した公園になるものと期待している」と満足そうに話した。



植栽された公園内

高良泰敏さんより ご寄付



▶寄付金の贈呈式

**サントリー地域文化賞に
「おもろ研究会」**

第十九回サントリー地域文化賞の贈呈式が七月十日、大阪全日空ホテルで行われ、沖縄最古の歌謡集「おもろさうし」の研究を長年続けてきた「おもろ研究会」平山良明会長(呉我山出身)がみごと受賞し、記念の盾と賞金二百万円が贈られた。

サントリー地域文化賞は、地域で文化向上に貢献している個人・団体を対象として、一九七九年に創設、これまで沖縄から四団体が受賞している。

大阪府堺市菱木町七一五の高良泰敏さん(故高良武裕氏の長男)から父、武裕氏の香典返しとして、二十一世紀を担う人材育成にと村育英会に百万円、社会福祉の充実にと村社会福祉協議会に百万円のご寄付があった。

故武裕氏はこれまで村育英会、村社会福祉協議会に多額の寄付を行っており、同氏の故郷を思うご芳情に対し、深く感謝申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

ご存じですか

10月12日(日)~10月18日(土)は秋の行政相談週間です

- ◎こんな相談を受け付けます
 - ★分かりやすい案内標識を設置してほしい
 - ★トイレや待合室を清潔にほしい
 - ★高齢者、障害者等の安全や利便性を配慮して施設や設備を改善してほしい
 - ★職員の応接態度、言葉使い、用語等を改善してほしい...などみなさんからの苦情や要望を聴きながらサービスの改善を進めています

◎行政相談委員が相談に応じています
相談は無料・秘密厳守です



行政相談委員は新垣 侃さんです
(総務庁長官委嘱)
連絡先 ☎56-3148 (自宅)

今帰仁村文化財保存調査委員7人に委嘱状

- 【文化財保存調査委員】
- | | |
|---------|---------|
| (4月1日付) | (8月1日付) |
| 新城 春樹 | 玉城 松次 |
| 安座間安史 | 仲原 弘哲 |
| 平安 常弘 | |
| 大嶺 和彦 | |
| 安田きみ子 | (任期は2年) |

- ☆主な任務
1. 文化財の調査に関する事
 2. 文化財の指定及び、解除に関する事
 3. 村指定文化財に関する事
 4. 文化財の買収に関する事
 5. 埋蔵文化財の発掘に関する事
 6. 無形文化財の助成に関する事
- ※ 以上の事項を調査もしくは審議し、答申するその他必要と認める事項を建議する

天底交通安全友の会(与那満会長)が七月三十日、第二十回沖縄県交通安全県民大会で表彰された。

同友の会では子供達から標語を募集し、その中から選出した作品を立看板に掲載して字内に設置、交通安全推進運動を展開してきた。

与那会長は「平成三年度から継続して取り組んだのがよかった。これからも引き続き区長と連携を取りながら、子ども会、婦人会の協力を得て



▲表彰された交通安全友の会

天底交通安全友の会を表彰 交通安全功労で

いっしょに活動していきたい」と述べ、取り組みの継続を約束した。

兼次小表彰される 「継続は力なり」 沖縄県交通安全協会より

兼次小学校(上間久武校長)ではこのほど、これまで継続して取り組んできた交通安全街頭指導が認められ、交通安全優良学校に選ばれた。その表彰式が七月二十八日、パシフィックホテル沖縄で関係者が出席して行われた。

兼次小学校は学校安全年間計画の中で、「道路の歩行に必要な交通規則を知らせ、道路の正しい歩き方を身につける」ことを目的に、交通安全指導実施計画を作成し、映写フィルム・腹話術・安全な登下校・危険個所の確認・交通安全の歌などを実施してきた。

上間校長は「今回の表彰は



渡久山克幸さん

区長変わる

運天の区長が八月一日付で運天啓三さんから渡久山克幸さん(運天七七九)に変わりました。

これまでの長い間住民と役場の橋わたし役として頑張ってきた渡久山さん、大変ご苦労様でした。また新区長に皆様のご協力をお願いいたします。

一無料法律相談一

☆玉城弁護士による無料法律相談を下記のとおり行います。

1. 日時 平成9年9月17日(水) 10時~16時
2. 場所 村コミュニティセンター

お知らせ



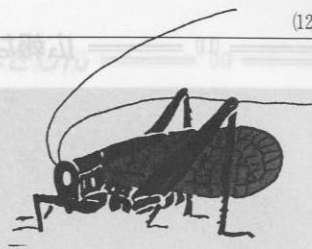
▶表彰に和やかな二人

PTAをはじめ、地域の方々の協力によるところが大きい。今後も独自の取り組みで交通安全を強化していきたい」と語り、決意を新たにされた。

村民カレンダー

9月/長月

1997年



10 水	○幼児ことばの教室(土日、祝祭日除く毎日)(9:00~17:00コミセン) ○ディサービス() (9:00~17:00コミセン) ○心配ごと相談(13:30~16:30コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30コミセン) ○住民検診(渡喜仁、役場) ○キックベースボール大会(婦人会)
11 木	○住民検診(古宇利) ○水彩画講座(19:30~21:00中央公民館)
12 金	○敬老会(コミセン) ○星座教室
13 土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン) ○星座教室
14 日	○住民検診(モレ者)
15 月	○敬老の日
16 火	○牛セリ(セリ市場)
17 水	○心配ごと相談(13:30~16:30コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30コミセン) ○無料法律相談(10:00~16:00コミセン)
18 木	○水彩画講座(19:30~21:00中央公民館)
19 金	○区長会(14:00~ 2階会議室) ○離島フェア~
20 土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン) ○離島フェア~
21 日	○離島フェア~ ○兼次中、今帰仁中運動会
22 月	○風しん予防接種(小1、モレ者)
23 火	○秋分の日
24 水	○心配ごと相談(13:30~16:30コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30コミセン)
25 木	○水彩画講座(19:30~21:00中央公民館)

26 金	
27 土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
28 日	○兼次小、今帰仁小、天底小、湧川小中、古宇利小中運動会
29 月	○風しん予防接種(幼稚園)
30 火	

10月

1 水	○心配ごと相談(13:30~16:30コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30コミセン) ○おし花講座(20:00~22:00中央公民館)
2 木	○北部地区畜産共進会 ○水彩画講座(19:30~21:00中央公民館)
3 金	○区長会(14:00~ 2階会議室)
4 土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン) ○第52回村陸上競技大会(やり投、ハンマー投、円盤投)~運動公園
5 日	○第52回村陸上競技大会(村営グラウンド)
6 月	
7 火	
8 水	○心配ごと相談(13:30~16:30コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30コミセン) ○おし花講座(20:00~22:00中央公民館)
9 木	○水彩画講座(19:30~21:00中央公民館)
10 金	○体育の日

■ 当日はお世話になった先生方も招待、各自思い思いのテーブルで、終始和やかな雰囲気にも包まれた。

■ 八月十六、十七の両日沖繩本島に上陸した台風十三号は、各地に深い爪痕を残して去っていった。

■ くしくも十六日は、北山高専第二十七期普通科卒業生の同窓会が近くのホテルで開かれた。実に二十二年ぶりの再会である。はたして顔と名前が一致するだろうか、期待と不安が交錯する中私は出席した。

■ 同窓会は悪天候にもかかわらずクラスメート半数が参加、時の経つのも忘れ、昔の懐かしき思い出に花を咲かせた。同窓生はほとんどが昔に比べ、体重オーバー(自分もその一人)で、その変わり果てた姿に自分の目を疑い、二十二年という年月の長さを感じさせられた。



編集後記